ハーフクローラトラクタ

取扱説明書

GOK26・GOK34

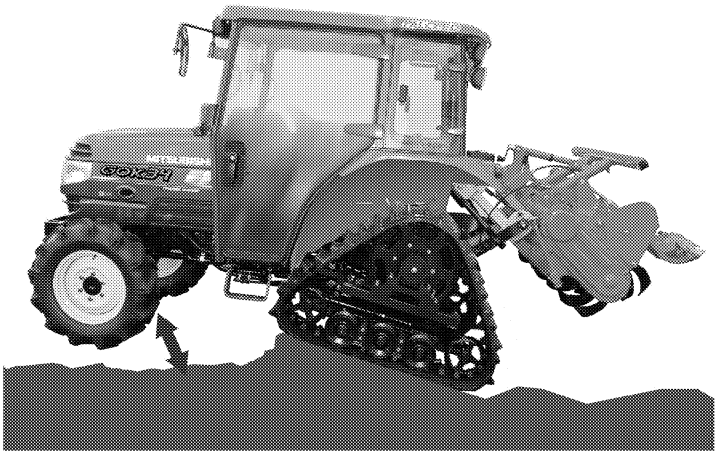


ご使用前に必ずお読みください
身近なところに大切に保管してください

本取扱説明書はホイールトラクタ（タイヤ仕様）との異なる点のみをまとめて説明しています。その他の項目は、[ＧＯ２６～ＧＯ３４の取扱説明書]をご覧ください。

１．安全作業の為に

ハーフクローラトラクタはホイールトラクタ(タイヤ仕様）と異なりますので、この[安全作業の為に]をよく読み、ご理解の上、使用してください。

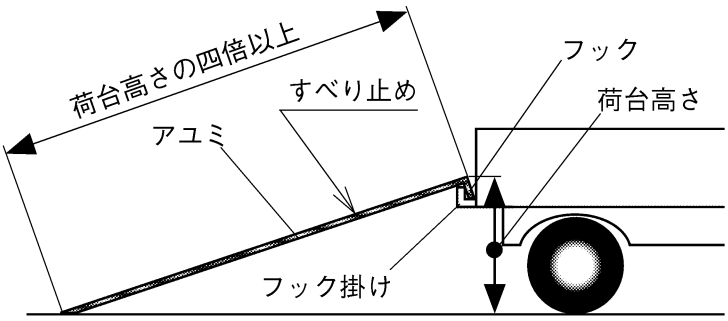


⚠ 路上走行をする時は・・・・・

⚠注意 クローラ部が凸部を乗り越える時は、急に姿勢が変わりますので十分注意してください。

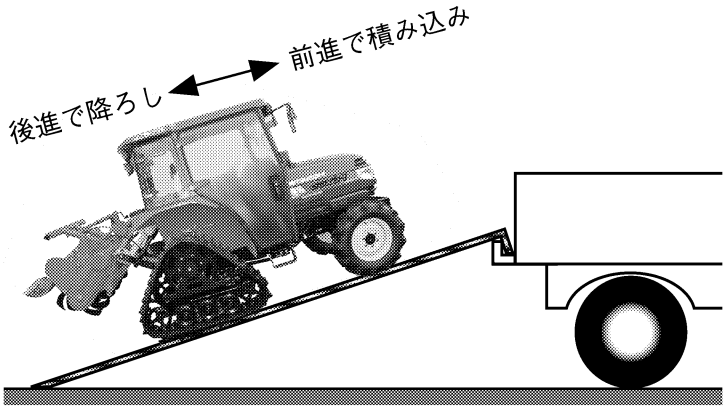
⚠ 自動車への積み込み・積み降ろしをする時は・・・・・

⚠警告 アユミは、機械の質量に耐える強度・幅(クローラがはみ出さない幅)・長さ（荷台高さの四倍以上)のあるすべり止め及びフック付きのものを使用し、ハーフクローラトラクタの質量でアユミが傾いたりしない場所を選んでください。



⚠警告 トラックは荷台後部にアユミのフックを掛ける構造になっているものを使用してください。

⚠警告 トラックへの積み降ろしは、必ず左右のブレーキペダルを連結し前進で積み込み、後進で降ろしてください。前進で降りると、クローラがアユミの段差ですべり、前輪が浮いて車体が旋回し転倒事故につながる恐れがあります。

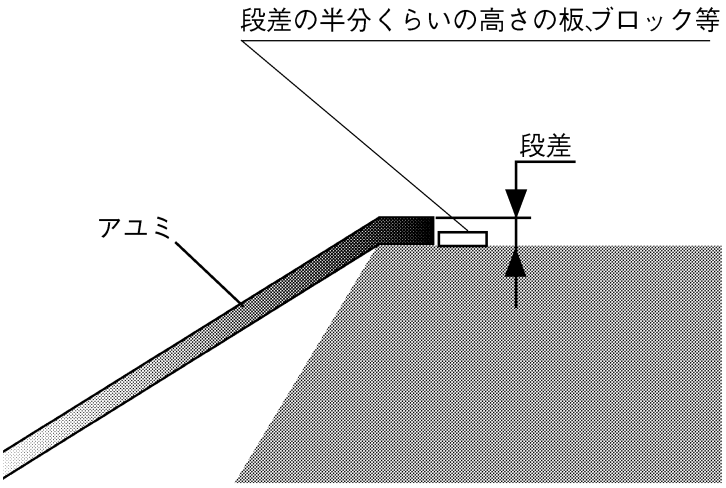


⚠警告 クローラがアユミの段差に引っかかり、アユミに乗り上げない場合は、いったん機械を元に戻し、アユミをかけ直して、段差の半分くらいの高さの板、ブロックをアユミの前に置いて、段差を少なくしてからやり直してください。

⚠ ほ場で作業をする時は・・・・・

⚠警告 アユミはすべり止め及びフック付きのものを使用し、左右の先端をそろえ、前後にずれないように確実に固定してください。

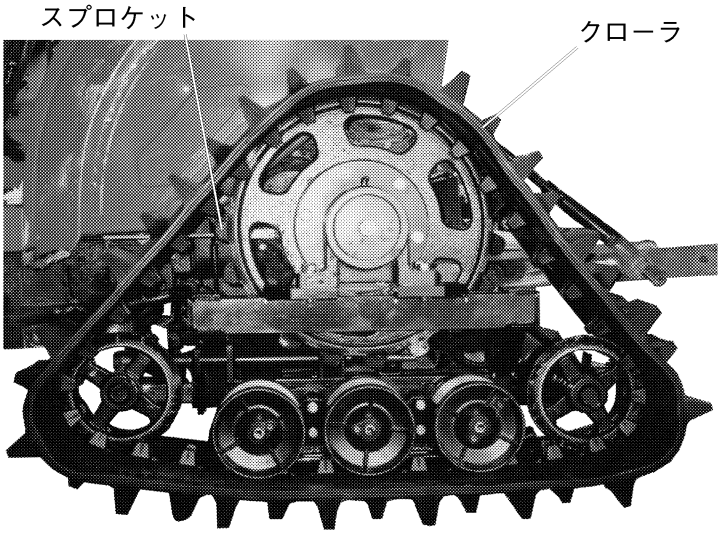
⚠警告 アユミとアユミを掛けた面との段差が大きい場合、クローラがアユミの段差に引っかかり重大な事故を引起す原因になりますので、段差の半分くらいの高さの板、ブロック等を置いて段差を少なくしてから、低速で運転してください。



⚠警告 ハーフクローラトラクタは、左右に大きな段差のある状態で作業を行なうと、クローラが外れる場合があります。プラウ作業などで片側のクローラを溝に落としての作業は行わないでください。

2．移動について

ハーフクローラ仕様機は道路交通法の小型特殊自動車に該当しません。ハーフクローラ仕様機で公道を走行すると道路運送車両法に違反します。公道を移動するときは積載重量２ｔ以上のトラックに積んで運搬してください。



3・運転前の点検

❶ゴムクローラの張りと亀裂､損傷が無いかを点検し､大きな亀裂や損傷がある場合は交換を行なってください。
❷スプロケツトの摩耗を点検してください。
❸可動部分やゴムクローラへの石等のはさみ込みが無い事を確認し､はさまっている場合は取除いてください。
❹各部のボルト、ナットの緩みが無いか、点検してください。

4・運転操作のしかた

⚠警告 凹凸やカーブの多い所では、高速走行をしないでください。ハンドル操作ができなくなる恐れがあります。



❶ほ場での旋回は速度を下げ、ハンドルとブレーキ（片ブレーキ又はＡＢターン）を併用してください。
❷片側クローラをロックしての急旋回は、ほ場を荒しますので、切返しでの旋回をお勧めします。
❸機械保護の為、作業中に急発進、急停止、急旋回等、無理な操作はしないでください。
❹重けん引作業を行なう時は低速で行なってください。

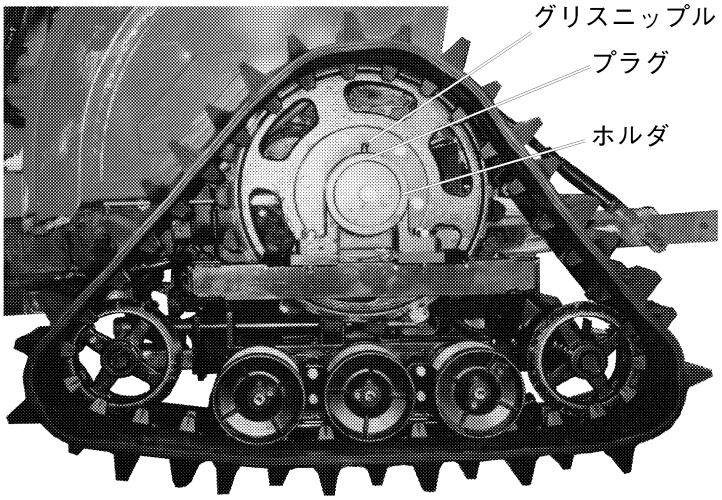
5．定期点検整備表

機械の点検整備につきましては[ＧＯ２６～ＧＯ３４の取扱説明書]の１０４ページから始まる「手入れのしかた」を参照してください。ここでは、ホイールトラクタと異なる点のみ説明いたします。

点検整備項目	整備内容	点検時間	
		運転前	時間毎
クローラ	点検	○	
ローラ、アイドラ	点検	○	
ホルダ	点検、補給	○	○（補給）

6．給脂個所

ホルダ上部のプラグを外し、グリスガンを使用して１００時間毎にグリスニップルへ補給してください。



7．クローラ部の点検

❶ゴムクローラに亀裂、損傷が無いか点検し、大きな亀裂や損傷がある場合は「お買いあげ先」で交換を行なってください。

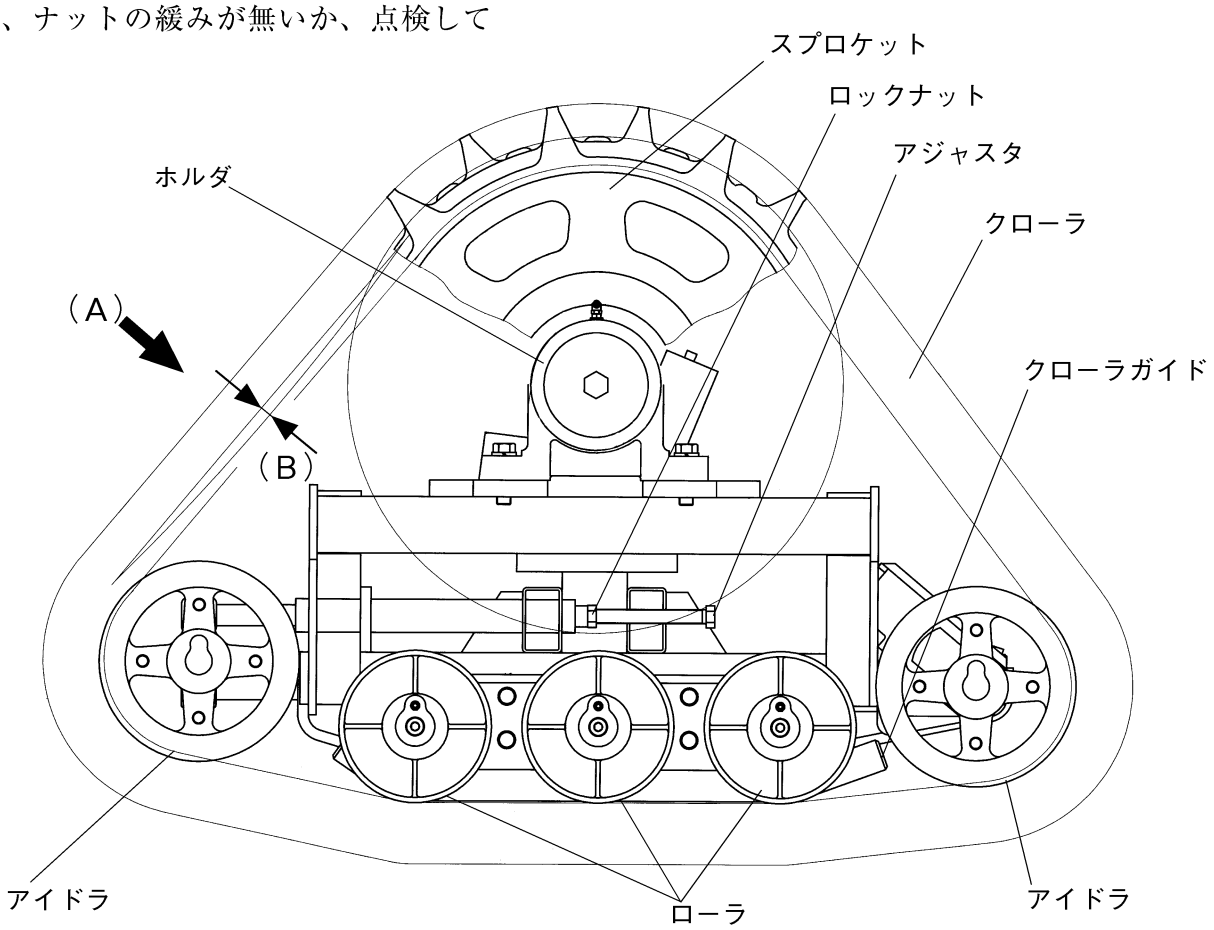
❷ローラ、アイドラ、スプロケット、クローラガイドに損傷又は変形が無いか点検し、損傷又は変形がある場合は「お買いあげ先」で交換を行なってください。

❸可動部分やゴムクローラへの石等のはさみ込みが無い事を確認し、はさまっている場合は取除いてください。

❹各部のボルト、ナットの緩みが無いか、点検してください。

❺クローラの張り調整

クローラの（Ａ）部を１９６Ｎ～２４５Ｎ（２０ｋｇｆ～２５ｋｇｆ）の荷重で押します。
この時ゴムクローラのタワミ（Ｂ）が１０～１５ｍｍになるようにアジャスタを回して調整します。
アジャスタを調整後はロックナットで固定します。



8．主要諸元

型式名			三菱ＧＯＫ２６	三菱ＧＯＫ３４
駆動方式			４輪駆動（後輪クローラ）	
機体寸法	全長 mm（ロワリンク先端）		３１４０	
	全幅 mm		１５８０	
	全高 mm（安全フレーム上端）		１９６５	２０２５
	最低地上高 mm		３１５	３４５
機体質量［重量］kg（ ）内はキャビン仕様			１６２５（１８２５）	１６９０（１８９０）
エンジン	型式名		Ｓ４Ｌ－Ｔ１１Ａ	Ｓ４Ｌ－Ｔ１３Ａ
	種類		水冷４サイクル４気筒ディーゼル	
	総排気量 L{cc}		１．５｛１５００｝	
	出力／回転速度 kW{PS}／rpm		19.1｛26｝／2500	25.0｛34｝／2800
	使用燃料		ディーゼル軽油	
	燃料タンク容量 L		２８	
	バッテリ V・Ah		１２・６４	
走行部	前輪		７－１４	８－１６
	ゴムクローラ	パターン	ハイラグ皿型	ハイラグ皿型
		接地長 mm	９００	
		幅 mm	４００	
		リンク数	３４	３５
		ピッチ mm	９０	
	接地圧ｋＰａ｛ｋｇｆ／㎠｝（ ）内はキャビン仕様		１３．７（１４．７）｛０．１４（０．１５）｝	１４．７（１５．７）｛０．１５（０．１６）｝
	軸距 mm		１５８０	１７７０
	輪距	前輪 mm	１０７０	１１１５
		後輪 mm	１１８０	
	クラッチ形式		乾式単板	
	ブレーキ形式		ディスク式（湿式）	
	かじ取方式		全油圧式パワーステアリング	
	変速方式		常時噛合い式	
	変速段数		前進１６段，後進１６段	
	走行速度	前進 km／h	０．２６～１３．９８	０．２９～１４．８８
		後進 km／h	０．２３～１２．３５	０．２８～１４．２０
	最小旋回半径 m		２．１	２．３
ＰＴＯ	回転速度 rpm	正転	５５５，７６８，１０１８，１２９４	５７３，７９３，１０５１，１２９２
		逆転	５５０，７６１，１００８，１２８２	５６７，７８５，１０４１，１２８０
	軸径 mm		ＪＩＳ３５（６スプライン）	
昇降作業装置	制御方式		ポジションコントロール	
	装着方式		３点リンク　ＪＩＳ Ⅰ	

9．3点リンク

3点リンクの寸法はホイールトラクタと異なりますので、下記を参照してください。

❶ロワリンク後方目玉の地上高。（ ▨ 内はロータリ装着時。）

		機　種	GOK26		GOK34	
		ロワリンク	前　穴	後　穴	前　穴	後　穴
リフトロッド	上穴	最　上　げ	870	878	939	946
		最　下　げ	235	422	306	494
		揚　　程	635	456	633	452
	下穴	最　上　げ	800	828	870	897
		最　下　げ	123	331	194	402
		揚　　程	677	497	676	495

❷3点リンクの取り付け

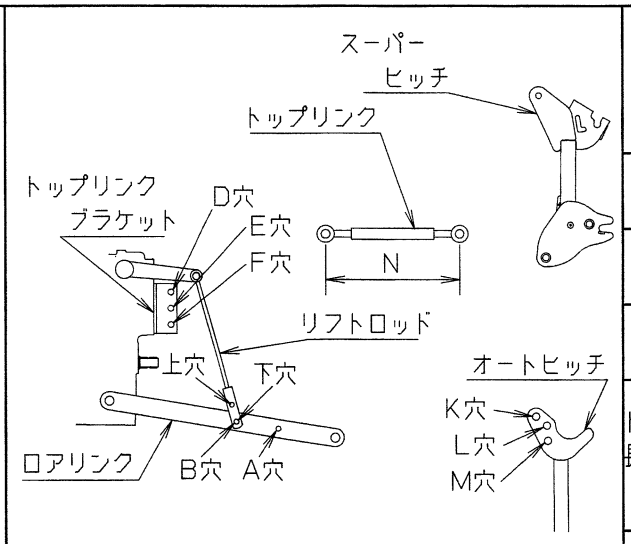
3点リンクの取り付けは作業機によって異なりますので、下記の表と作業機の取扱説明書を参照し、取り付けてください。

[ロータリ・駆動型ハロー取付け要領図]

ロータリを取付ける時は3点リンクを下表に合わせてください.

三菱スーパーヒッチ

オートヒッチ



装着方式		三菱スーパーヒッチ	オートヒッチ			
			松山ヒッチ	小橋ヒッチ	ササキヒッチ	スターヒッチ
リフトロッド取付穴		下	下	下	下	下
ロアリンク取付穴		B	B	B	B	B
トップリンクブラケット穴		F	F	F	E	F
トップリンク長さ（N）mm	サイドロータリ	560	642	690	655	637
	センターロータリ					
オートヒッチ取付穴		−	K	K	K	K

10．ロータリの取付け、取外し

ロータリは標準３点リンクのスーパヒッチで取り付けます。

❶スーパヒッチの準備

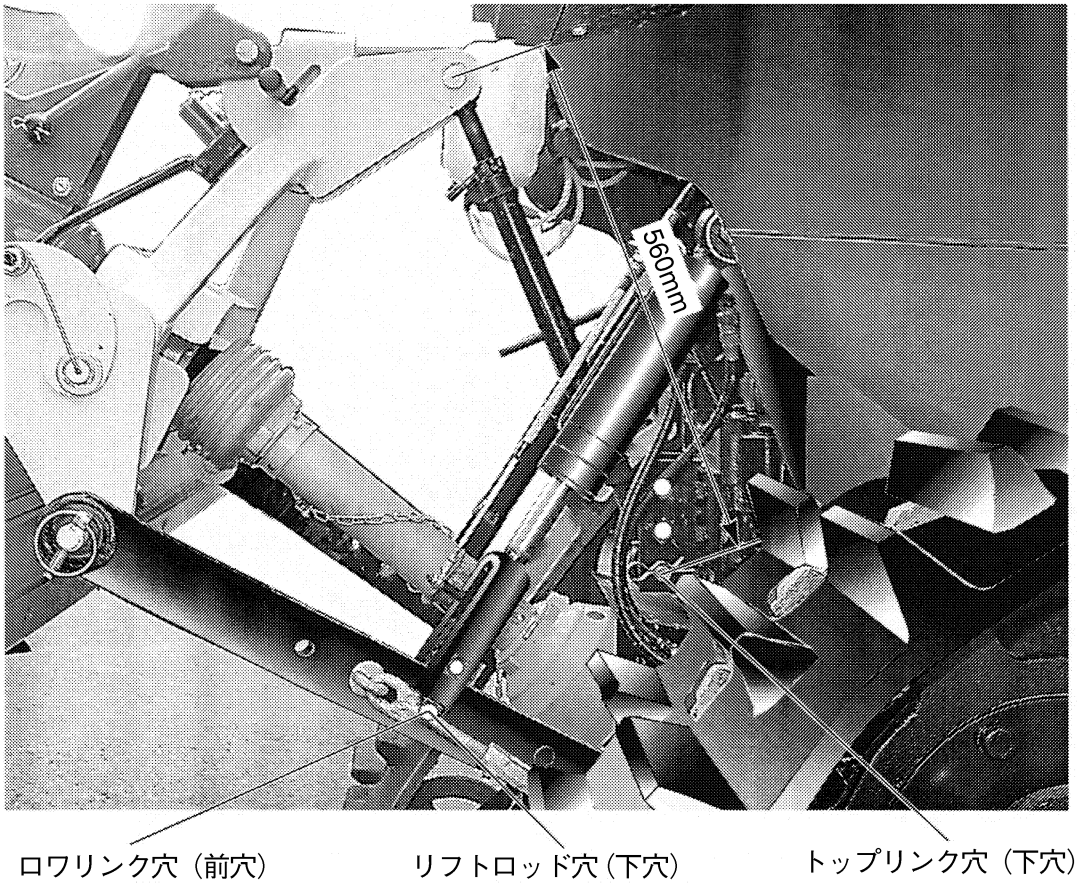
・トラクタのトップリンク、リフトロッド、ロワリンクのセット位置を確認します。

トップリンク長……560㎜

トップリンク穴……下穴

リフトロッド穴……下穴

ロワリンク穴……前穴



❷そのあとの手順（スーパヒッチ、ヨークの取り付け・ロータリの取り付け、取り外し）については、**「三菱ロータリRB143S～193Sの取扱説明書」**の11～14ページを参照してください。